

第70回 東海学生剣道優勝大会

第46回 東海女子学生剣道優勝大会 要項

1. 日 時	令和5年9月18日（月・祝） 午前9時40分開会 令和5年9月23日（土・祝） 午前9時40分開会	第70回東海学生剣道優勝大会 第46回東海女子学生剣道優勝大会
2. 場 所	第69回東海学生剣道優勝大会 : スカイホール豊田 第45回東海女子学生剣道優勝大会 : 東スポーツセンター	
3. 主 催	東海学生剣道連盟 毎日新聞社	
4. 後 援	東海四県剣道連盟 東海学連剣女会	
5. 試 合 種 目	男女団体試合	
6. 参 加 校	24校（男子23校・女子21校） 愛 知 大 学 愛 知 学 院 大 学 愛 知 教 育 大 学 愛 知 工 業 大 学 愛 知 東 邦 大 学 朝 日 大 学 岐 阜 大 学 岐 阜 聖 徳 大 学 皇 學 館 大 学 静 岡 大 学 静 岡 県 立 大 学 星 城 大 学 中 京 大 学 中 部 大 学 中 部 学 院 大 学 常 葉 大 学 名 古 屋 大 学 名 古 屋 経 済 大 学 名 古 屋 工 業 大 学 名 古 屋 商 科 大 学 名 古 屋 市 立 大 学 南 山 大 学 三 重 大 学 名 城 大 学	
7. 試 合 方 法	男・女とも団体戦を行う。 男子団体戦は、1部16校の4ブロック、2部7校の2ブロックに分けて予選リーグと予選リーグ各ブロック上位2校による決勝トーナメントを行う。また、1部決勝トーナメント1回戦敗退校による全日出場権決定の敗者復活戦を行う。 女子団体戦は、6ブロックに分けて予選リーグと予選リーグ各ブロック上位2校による決勝トーナメントを行う。また、決勝トーナメント2回戦敗退校による全日出場権決定の敗者復活戦を行う。 ※チームの人数が定員に満たない場合の選手配置について 7人制の場合 五将、三将、次鋒の順に選手を置かないこととする。 5人制の場合 次鋒、副将の順に選手を置かないこととする。	
8. チームの勝敗の決定方法	・予選リーグの順位の決定方法 チームの勝敗決定方法は、次の通りとする。 ①勝者数による。②勝者数同数の場合は、総取得本数による。③勝者数、取得本数同数の場合、予選リーグは引き分けとし、決勝トーナメント・敗者復活戦共に、代表者戦を行う。予選リーグ各ブロックの上位2チームの決定方法は次の通りとする。 ①チームの勝数による。②チームの勝数同数の場合は、チームの負け数が少ない方。③チームの勝数、負け数同数の場合は、リーグ戦での総勝者数による。④総勝者数同数の場合は、リーグ戦での総取得本数による。⑤上記の①～④が同数の場合は、各ブロック1位2位決定の代表者戦を行う。	
9. 試 合 時 間	試合時間は、予選リーグは男女とも4分3本勝負、決勝トーナメント&敗者復活男女とも5分3本勝負とし、勝敗が決せざる場合は、引き分けとする。代表者戦は、男女とも任意の選手による5分1本勝負とする。時間内に勝敗の決しない場合は3分間の延長を行う。延長戦を3回毎に5分間の休憩を行い、勝敗が決するまで行う。	
10. 出 場 資 格	出場選手は連盟に個人登録されている者で、登録回数4回（6年制大学並びに6年制学部学科は6回、3年制短期大学ならびに3年制学部学科は3回、短期大学は2回）までの者に限る。但し、卒業年度を超えず、編入などの理由で他地域連盟からの転入者に関しては、既存の登録年数を加算する。また、学生剣道以外の各職域大会に出場する資格を有する者の出場は認めない。	

11. 試合・審判規則 全日本剣道連盟の剣道試合・審判規則・細則・運営要領・新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法及び本大会の申し合わせ事項により行う。
1. 試合・審判規則の実施に関して疑義がある場合はその試合者の試合終了までに、監督を通じて審判主任又は審判長に対して異議の申し立てができる。
 2. 異議の申し立ての権利は監督のみが持ち、監督不在の場合は監督代理者をおくことができる。
(監督代理者は事前に本部に届けられている者に限る。)
12. 審判員構成 全日本学生剣道連盟加盟大学卒業生を以て行うことを原則とする。
13. 表彰 男子1部・2部とも、優勝・準優勝・第3位(2チーム)
女子優勝・準優勝・第3位(2チーム)
14. 全日出場権 男子1部校の上位7校は、全日本学生剣道優勝大会、女子上位6校は、全日本女子学生剣道優勝大会の東海学生剣道連盟代表校としての出場権を得る。

